

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【公開番号】特開 2019-145930 (P2019-145930A)  
【公開日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-035  
【出願番号】特願 2018-26663 (P2018-26663)  
【国際特許分類】

H 0 4 R 3/12 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 3/12 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 16 日 (2020.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 には、ヘッドホンジャックに接続された 2 つの端子を備えた携帯用音響再生装置（以下「再生装置」とも称する）が記載されている。なお、この再生装置は、音声出力回路と称されることもある。以下、ヘッドホンジャックに接続された 2 つの端子を「第 1 端子」、「第 2 端子」と称する。この再生装置では、第 1 アンプで増幅された音信号が第 1 端子に供給され、第 2 アンプで生成された基準電圧が第 2 端子に供給される。音信号は、グランド電圧 GND から電源電圧 VDD の間で変動する。基準電圧としては、電源電圧 VDD の  $1/2$  の電圧が用いられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明に係る音声出力回路の制御方法の一態様は、音信号を増幅する増幅部と、前記増幅部の出力端子と接続された外部接続用の第 1 端子と、基準電圧を出力する基準電圧出力部と、外部接続用の第 2 端子とを含む音声出力回路の制御方法であって、前記外部接続用の第 2 端子の電圧に応じて、前記基準電圧出力部の出力端子と前記外部接続用の第 2 端子との導通状態を制御することを特徴とする。

この態様によれば、外部接続用の第 2 端子の電圧に応じて、基準電圧出力部の出力端子と外部接続用の第 2 端子との導通状態が制御される。このため、基準電圧出力部を制御することなく、音声出力回路から、外部接続用の第 2 端子を介して当該音声出力回路に接続された機器に、不要な電流が流れることを抑制できる。よって、基準電圧出力部を制御するための指令が不要となり、当該指令を受け取る制御端子を不要にできる。